



編集 SEF 事務局
 連絡先 080-8865-0951
 URL <http://sef-jpn.org>

巻頭のことば ー情報化社会 **理事 白崎善宏**

最近の情報化社会の進捗は著しく、現状を理解することも難しくなっています。昨年 2024 年のノーベル物理学賞は「ニューラルネットワーク」のジョン・ホップフィールド氏、「深層学習」のジェフリー・ヒントン氏でいずれも AI の基本技術であり、賞を受けたことは AI が生活や産業、学術に役立っていることの証でもあるでしょう。さらに、ノーベル化学賞も AI を使ってタンパク質の構造を正確に予測するプログラム「アルファフォールド」を開発したデビッド・ベイカー氏でした。また、東京都知事選挙や兵庫県知事選挙では SNS の在り方が注目を集めました。特に印象が残ったのは、兵庫県知事選で選挙初日の駅前、候補者一人で朝の挨拶をしていましたが、18 日後の投票前日は、非常に多くの人たちに囲まれて演説している光景でした。さらに、最近の課題として日本では「AI 規制」が語られ、一方米国のトランプ政権では「AI 規制緩和」が議論されています。前述のヒントン氏は真偽不明の情報、政治や軍事に利用されることの懸念、AI が手に負えなくなる脅威を発信しています。「SNS は偽情報を拡散し」、「AI は偽情報を創造する」ともいわれています。情報化社会は逃げるのでできない、我々の大きな課題であることを再認識しましょう。

事業報告 (プラント事業部) **担当理事 堀越繁**

SEF プラント事業部活動の方向としてはプラント関連のスタートアップ、及び小規模企業の業務支援の契約獲得、遂行に力を注いでおります。会員の皆様がよくご存知の通りプラント業界の企業も人手不足であり、顧客からの SEF への期待は多様であり、それに応えるために一部営業活動では SEF 同様、OB で組織された団体との協業も含めて活動しております。

活動案件の具体例を挙げます。新規事業開始のためのプラント設計の各段階（プロセス設計、EPC 作業内容、製品品質におけるコンサル）の検討。海外 EPC 会社における各分野担当エンジニア支援業務などなど。これらの活動では、契約以前段階より、依頼先の要求、質問に応えるために、SEF 会員である各分野のエキスパートの皆様から協力いただき SEF として顧客の信頼を獲得しつつあると確信しております。個々詳細については皆様にも応募内容を都度お知らせしているので皆様をご存知の通りです。

一方、上記企業訪問に加え国内におけるプラント業界のキャッチアップ観点より昨年 8 月より IPC プロセス計装制御技術協会に賛助会員として加入いたしました。同様に各種関連展示会の見学を実施、また SEF プロジェクト X 事業部が主体として特別会員として参加しました水素バリューチェーン推進協議会 (JH2A) からの情報を営業活動の参考にしております。

今後とも会員の皆様からの営業活動への全面的なご支援をお願いする次第です。

SEF サロン (第 138 回報告・第 139 回案内) **担当理事 白崎善宏**

- 《 第 138 回報告 》
1. 日時：1 月 20 日(月) 15 時～16 時 30 分 2. Zoom によるリモート
 3. 講師：田口直樹氏 (三菱化学株式会社 (現 三菱ケミカル) 認定監査室長 兼 グループRC担当部長)
 4. 講演題目：「事故・トラブルをいかにして防止するか」
- 長い実務経験を通じての事故・トラブルの防止をいかにすべきかのお話でした。日本の現状の取り組みでは、現場(人)が主体的に安全活動に取り組むことは強いが、設備・システムでガードをかけることつまり、プロセスリスクアセスメント(PRA)が弱いと指摘されました。実例を含めた有益な説明に対して、活発な質疑応答が行われました。
- 《 第 139 回案内 》
1. 日時：3 月 12 日(水) 15 時～16 時 30 分 2. 場所：品川区中小企業センター3 階「中会議室」
 3. 講師：清澤忠彦氏 (慶応義塾大学 硬式野球部 OB 元住友金属工業野球部 監督)
 4. 講演題目：「一球入魂 (アマチュア野球人生 70 年を振り返る)」

2025 年 1 月度会員動向 **事務局**

<u>会員の入退会</u> なし	<u>2025 年 1 月末日現在の会員数</u> 正会員：24 名、準会員：49 名、賛助会員：6 社
---------------------	---